

入学時期：	11月生	学科：	上級行政科	コース：	21ヶ月	クラス	－
科目名：	<b>地理・歴史(地理・日本史・世界史)</b>					年次：	<b>1年次</b>
担当者：	田縁 美穂	単位：	8単位	授業時間：	120時間		

## ■授業概要・方法等

テキストを用いて講義形式で授業を行う。学生は単元終了ごとに各自で過去問題集に取り組み、その単元の問題を正しく解答できるようにする。また単元ごとに実施する小テスト（公務員試験と同形式）や誤答のやり直しのレポート、総合演習を通じて理解度を確認する。

## ■学習・教育目標及び到達目標

地理では、日本や世界各国の自然、産業、資源、エネルギー事情、貿易、民族・言語、人口問題などについて、統計や地図などを用いて学び、現状や特色を理解できるようになる。また歴史や現代社会とも関連づけながら各国の特徴や課題を学び、総合的に地理・歴史を理解する力を習得する。

歴史では、古代から近現代までの日本や世界の歴史の大きな枠組みと展開を学習する。国ごとの歴史の流れや、各時代の出来事や意義などを学習し、これらの知識を身につける。さらに各国の比較や相互の関連づけを通してより理解を深める。とくに近現代史では、日本と世界との歴史的関係を学習し、戦後の国際関係や現代社会との関係性を学ぶための基礎知識を身につける。

これらの学習を通じ、公務員試験大卒程度の地理・歴史の標準的な問題を正答できるようになる。

## ■成績評価方法および基準

地理 35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）

日本史 30%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）

世界史 35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）

可否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～60	59～40	39～0

## ■教科書

### 【地理】

『地理テーマ別テキスト』（本校独自）

『上級地理 各国・地域別テキスト』（本校独自）

『上級地理 過去問題集・解答解説』（本校独自）

『地理統計要覧 最新版』（二宮書店）

### 【日本史】

『上級日本史テキスト』（本校独自）

『上級日本史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級日本史 本日の復習』（本校独自）

## 【世界史】

『上級世界史テキスト』（本校独自）

『上級世界史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級世界史 本日の復習』（本校独自）

## ■授業計画の内容

### 時間割上の科目名:【地理】

(11-3月 15時間)

時 数	内 容
1 ~ 3	ガイダンス, 気候の特色とグラフ, 植生と土壌
4 ~ 6	ラテンアメリカの国々
7 ~ 8	東アジアの国々
9 ~ 11	東南アジア・南アジアの国々
12 ~ 15	ヨーロッパの国々

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
16	オセアニアの国々
17 ~ 18	アフリカの国々
19 ~ 21	西アジアの国々と中東戦争 (世界史の内容と一緒に講義)
22 ~ 23	アングロアメリカの国々
24 ~ 25	地形 (扇状地, 三角州, フィヨルド, リアス式海岸など)
26	CIS の国々
27	世界と日本の水産業, 海流
28	日本の地形, 農業, 農産物生産上位など
29	世界と日本の貿易
30	地図の図法と特徴

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
31	世界と日本の水産業, 海流
32	世界の資源とエネルギー事情
33 ~ 34	西アジアの国々
35	北アメリカの国々
36	オセアニア・CIS の国々
37	世界の山脈・海峡・河川・砂漠のまとめ
39	地形 (扇状地, 三角州, リアス式海岸, フィヨルドなど)
40	世界の人口, 都市問題, 民族・宗教・言語について

## 時間割上の科目名:【日本史】

(11-3月 15時間)

時 数	内 容
1	出題傾向と勉強方法に関するガイダンス, 江戸時代 (幕府成立と統制策)
2 ~ 3	江戸時代 (初期の外交, 文治政治への転換, 元禄の治, 産業・経済など)
4 ~ 5	江戸時代 (正徳の治, 三大改革)
6	江戸時代 (列強の接近, 開国, 幕末の動乱)
7 ~ 8	明治時代 (新政府の政策)
9 ~ 10	明治時代 (自由民権運動, 外交と条約改正)
11	明治時代 (日清・日露戦争, 産業革命, 桂園時代)
12	大正時代 (第1次世界大戦, 国際協調時代, 戦後恐慌)
13	昭和時代 (金融恐慌, 満州事変, 日中戦争, 第2次世界大戦)
14 ~ 15	政党政治の変遷

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
16 ~ 17	戦後の日本 (五大改革, 歴代内閣と政策・外交, 戦後の経済)
18 ~ 19	古代~白鳳時代 (飛鳥時代, 律令政治の成立, 文化)
20	奈良時代 (律令政治の崩壊, 鎮護国家思想, 文化など)
21 ~ 23	平安時代 (律令政治の再建, 摂関政治, 院政, 平氏政権, 文化など)
24 ~ 25	鎌倉時代 (武家政権の成立, 執権政治の展開)
26	鎌倉時代 (産業・経済, 元寇, 幕府滅亡, 文化, 鎌倉新仏教など)
27 ~ 28	室町時代 (建武の親政, 南北朝動乱, 室町幕府の成立, 政策, 外交など)
29	室町時代 (産業・経済, 土一揆の発生, 応仁の乱, 文化など)
30	戦国時代, 織豊政権 (政策, 外交, 文化など)

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
31	戦後の日本 (五大改革, 朝鮮戦争, 経済の動きなど)
32	戦後の日本 (歴代内閣と出来事など), 日朝関係史, 日露関係史, 琉球史
33	白鳳時代~奈良時代 (律令政治の成立と崩壊, 文化, 外交など)
34 ~ 35	平安時代 (律令政治の再建, 摂関政治, 院政, 平氏政権, 文化など)
36 ~ 37	鎌倉時代 (幕府の成立, 執権政治の展開, 元寇, 文化, 鎌倉新仏教など)
38 ~ 39	室町時代 (南北朝動乱, 幕府の成立, 日明貿易, 土一揆, 応仁の乱など)
40	戦国時代, 織豊政権 (政策, 外交, 文化など)

## 時間割上の科目名:【世界史】

(11-3月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 中世までのヨーロッパ社会
2 ~ 4	近代国家の幕開け (十字軍, ルネサンス, 大航海時代, 宗教改革)
5 ~ 6	絶対王政期の各国の特徴 (スペイン, イギリス, フランス, ドイツ, ロシア)
7	イギリスの市民革命, 英仏植民地戦争
8	イギリスの産業革命と19世紀の自由主義
9 ~ 10	各国の帝国主義 (イギリス, フランス, ドイツ, ロシア, アメリカ)
11	第1次世界大戦と戦後処理, 国際協調時代,
12	世界恐慌と各国の対策
13	ファシズムの台頭, 第2次世界大戦の勃発と終結
14 ~ 15	アメリカ史 (独立戦争と19世紀の発展)

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
16 ~ 17	戦後の社会 (アジア各国の独立について)
18 ~ 19	戦後の社会 (冷戦構造の確立と, 戦後の米ソの動き)
20 ~ 22	中国史 (古代~唐王朝)
23 ~ 25	中国史 (宋~明王朝)
26 ~ 27	中国史 (清王朝~辛亥革命)
28	中国史 (国民党と共産党との対立, 戦後の中国社会)
29	フランス史 (フランス革命, ナポレオンの帝政, ウィーン体制)
30	ドイツ史 (ドイツ帝国の成立と滅亡), イタリア史 (19世紀の統一運動)

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
31 ~ 33	中国史 (古代~唐王朝)
34 ~ 36	中国史 (宋~明王朝)
37 ~ 38	フランス史 (フランス革命, ナポレオンの帝政, ウィーン体制)
39	19世紀の欧米諸国のまとめ, イスラム史 (イスラム教の興りと発展)
40	インド史 (仏教誕生, ムガル帝国の興亡, セポイの反乱, 独立運動)

### ■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。復習をしっかりと行い、授業の進行に合わせて過去問題に取り組み、ポイントを掴みましょう。

### ■その他